

進路だより

浜田水産高校

第4号 R2.7.31

進路指導部

求人票の受付け状況（本科生対象）

7月1日から求人票の受付けが始まりました。コロナウイルス感染症の影響で求人も減少すると予想していました。そこで産業別求人増減を令和元年度と比較するため調べてみたので、その結果を皆さんにお知らせします。（受付開始から16日間で比較）

産 業	R2	R1	増減	R1比
農林業	3	2	1	150%
漁業	12	18	-6	67%
建設業	63	69	-6	91%
製造業	64	81	-17	79%
電気・ガス・水道	2	3	-1	67%
情報通信	1	1	0	100%
運輸・郵便	58	60	-2	97%
卸売・小売業	54	100	-46	54%
金融・保険業	0	1	-1	0%
不動産・物品賃貸業	33	35	-2	94%
学術研究・技術サービス	3	6	-3	50%
宿泊・飲食サービス	76	139	-63	55%
生活関連サービス	40	62	-22	65%
医療・福祉	39	49	-10	80%
複合サービス	1	1	0	100%
他のサービス業	42	70	-28	60%
合 計	491	697	-206	70%

上の表は産業別求人数を令和2年（R2）と令和元年（R1）に分けて表したものです。求人数合計で206件減少し、令和元年比70%となっています。

これを基準とすると、70%を下回ったのは漁業、電気・ガス・水道、卸売・小売業、学術研究・技術サービス、宿泊・飲食サービス、生活関連サービス、他のサービス業です。これらのうち特に減少が目立つのが、卸売・小売業、学術研究・技術サービス、宿泊・飲食サービスの3つの産業で、元年比50%台となっています。卸売・小売業と宿泊・飲食サービスが大きく減少したのは、コロナウイルスの影響に間違いありません。緊急事態宣言による外出自粛が大きく響いたようです。また、学術研究・技術サービスの減少にコロナウイルスは特に関係なく、結果としてこの数字になったと思います。

一方で90%台を維持した産業もあります。建設業、運輸・郵便業、不動産・物品賃貸業などが該当します。運輸・郵便業には海運業も含まれますが、海運業は令和元年の11件から2年度20件と増加しています。どうやら浜田水産高校は海運業界へ人材を供給しているという噂が、業者間に口コミで広まっているようです。

令和元年度は受付開始17日目以降に98件の求人を受付けました。今年はどうなるかわかりませんが、今後の推移を注意して見ていきたいと思えます。これからの状況が来年度に繋がっていくのではないのでしょうか。

3年生学年別活動

今年はコロナウイルスの影響で学校が休校となり、次々と学校行事が中止となりました。学年別活動も1年生と2年生は中止となりましたが、3年生については集中して進路活動を行う必要があり、例年に近い形で実施しました。メニューは以下のとおりでした。

- ・進路講話と模擬面接ガイダンス（外部講師）
- ・面接質問集記入と履歴書作成
- ・合同企業説明会への参加（雇用推進協議会）
- ・本校教員を面接官とした模擬面接
- ・地元企業で働く先輩とのトークセッション
- ・進学希望者への学習指導
- ・専攻科受験希望者への学習指導

来年はコロナウイルスに振り回されず、いつもの学年別活動を実施したいと願います。



真剣にブースで話を聞いてます。